

令和7年度(2025年度)

全国学力・学習状況調査の結果について



標茶町教育委員会

今年4月に文部科学省による全国学力・学習状況調査が実施され、過日調査結果が公表され、標茶町の調査結果をまとめましたのでお知らせします。この調査で測れるのは学力の一部分であり、学校教育の側面の一つではありますが、調査結果を今後の教育活動の改善に向けて活用していきます。

◆実施日

令和7年4月17日(木)(中学校理科は4月14日～4月17日のうち1日)

◆調査実施児童生徒

町内の小学校6年生38名 町内の中学校3年生51名

◆調査の内容

①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

- ・身に付けておかねばならない知識・技能等、及びそれらを実生活で活用する力や問題解決能力を一体的に問う問題

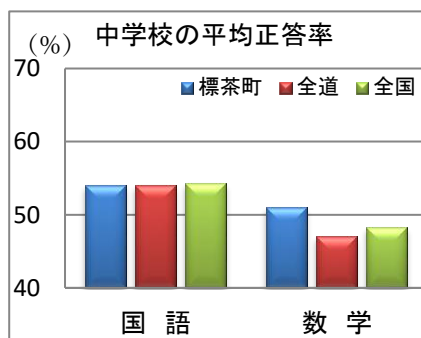
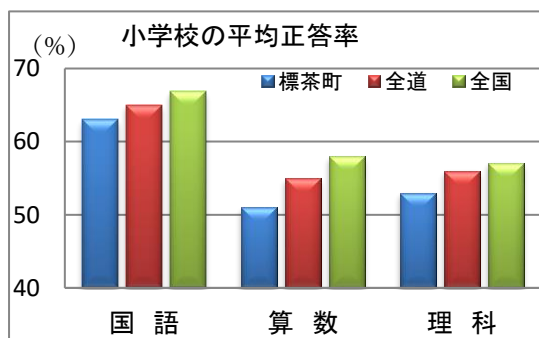
②生活習慣や学習環境等に関する質問調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

IRTとは、国際的な学力調査や英語資格・検定試験で採用されているテスト理論です。500を基準にした得点で表されています。

全道は[505]、全国は「503」、標茶町は「515」が平均IRTスコアであり、全道及び全国の数値を上回っています。

【標茶町・全道・全国の平均正答率(%)】※中学校理科はIRTスコア



〈小学校の状況〉

国語、算数ともに昨年度に比べて改善傾向です。

領域別の結果では、国語は「話すこと・聞くこと」において全国平均を上回り、「読むこと」においては正答率が高い傾向にあります。課題は「書くこと」です。自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題が見られました。

算数は、「図形」「変化と関係」において正答率が高い傾向にあります。課題は「数と計算」「測定」「データの活用」です。問題の意図を読み取り、数量の関係を式に表し、計算すること、伴って変わる二つの数量に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することに課題が見られました。

理科は、「生命」を柱とする領域において全国平均を上回り、「地球」を柱とする領域において正答率が高い傾向にあります。課題は「エネルギー」を柱とする領域と「粒子」を柱とする領域です。身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることや電気の回路に関する理解に課題が見られました。また、水の温まり方や蒸発、結露等の変化に関する理解に課題が見られました。

〈中学校の状況〉

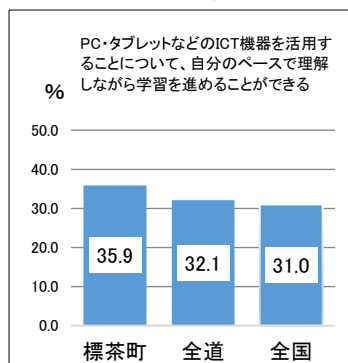
国語は昨年度に比べて改善傾向、数学、理科(IRTスコア)は全国・全道平均を上回る結果となりました。

領域別での結果では、国語は全ての領域で正答率が高い傾向にあります。自分の考えや根拠を明確にして書くことに優れていました。

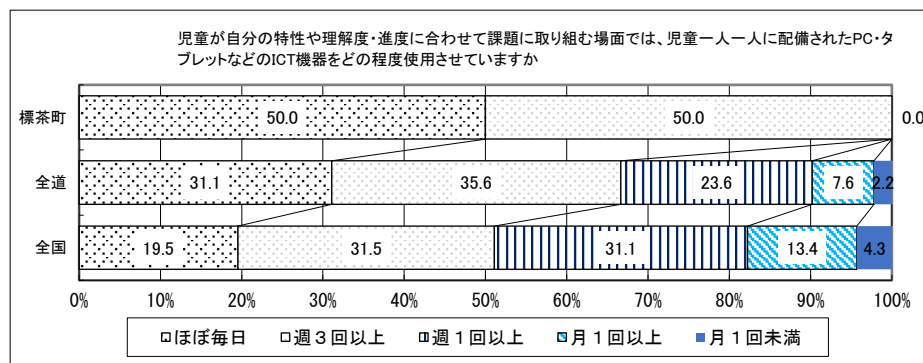
数学は、3領域で全国・全道平均を上回る結果となりました。「図形」の問題で無回答率が高く、仮定からわかる事柄、結論を導くために必要な事柄を明らかにするなどして証明の方針を立て、推論の過程を数学的に表現することに課題が見られました。

理科は、「生命」「粒子」を柱とする領域で正答率が高い結果となりました。「エネルギー」「地球」を柱とする領域で課題が見られました。

〈質問調査の状況〉

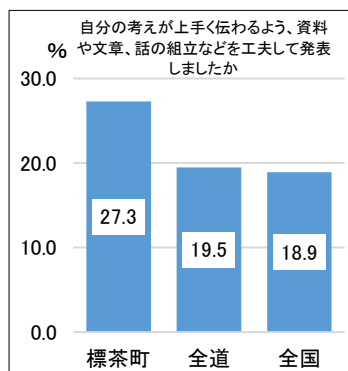


【児童質問調査】

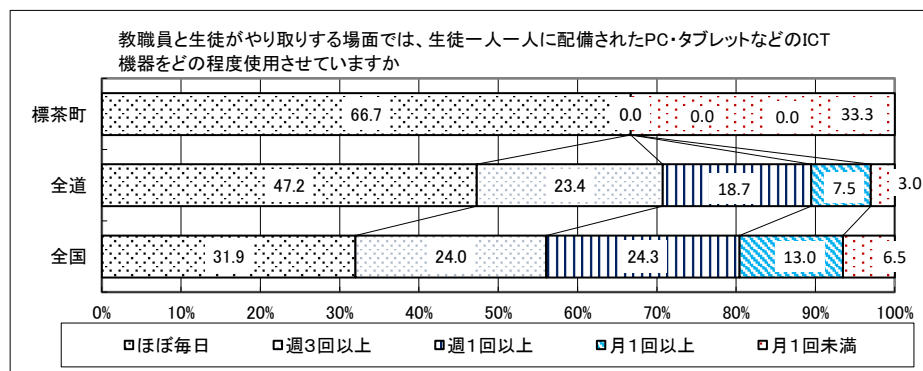


【学校質問調査】

教育活動全般にわたり、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用し、児童が自分の特性や理解度・進度に合わせながら課題解決に取り組む授業を進めており、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」と回答した児童の割合が全国及び全道平均を上回っております。



【生徒質問調査】



【学校質問調査】

町内各中学校において、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を効果的に活用し、生徒一人一人が自分の考えが上手に伝わるよう、資料や文章を作成するとともに、話の組立を工夫しながら発表する時間を確保することで、各教科の正答率・スコアが高い結果となっております。

【今後の改善方策】

各学校においては、児童生徒一人一人の調査結果を分析し、指導計画等に適切に反映させるなど、学習指導等の改善に向けて計画的に取り組んでいきます。引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るとともに、学習の場面等に応じた指導方法について研究を重ね、適切な指導方法を選択しながら実践してまいります。

ご家庭においては、お子様の生活リズムを整えるとともに学習時間と読書時間を確保していただきますよう、お願いいたします。

教育委員会では、引き続き、教育環境の整備に向けて各校と連携しながら、児童生徒の健やかな成長を支えてまいりますので今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

